

議会だより

ふくしま

第136号

令和4年12月1日発行
福島町議会

(題字：福島商業高等学校 2年 高橋 紗英さん)



- 定例会9月会議 P 2
- 決算審査特別委員会 P 4
- 定例会9月会議一般質問 P 6
- 定例会7月第2回会議ほか P 9
- 各議案の審議結果 P10
- 会議等出席状況 P11
- 町民と議員との懇談会 P13
- 総務教育常任委員会レポート P14
- 経済福祉常任委員会レポート P16
- 経済福祉・総務教育常任委員会
連合審査会レポート P19
- 吉岡温泉整備に関する調査特別
委員会レポート P20
- 議会諮問会議より答申 ほか P21
- 議会による行政評価 P22
- 町民の声 ほか P26

ふくしま ふくしま

2年 湊 由季さん 2年 木村 汐理さん

ふくしま ふくしま ふくしま

2年 工藤 尋斗さん 2年 船尾 凜さん 2年 湊 由佳さん

ふくしま ふくしま ふくしま

2年 水島 凜さん 2年 水澤 凜さん 2年 山本 未兎さん

8月の大雨による作業等費用、オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチン費用の追加！

定例会9月会議は、9月13日に開会し、15日に休会しました。

会議では、議案11件、同意2件、発委1件を審議したほか、各会計の決算は、決算審査特別委員会に付託、審議され、すべて認定すべきものと決定しました。

参画者は1名でした。



定例会9月会議審議の様子

補正予算

令和4年度一般会計補正予算(第7号)

- 農業施設維持管理費
 - 8月の大雨による農業用水路補修費用 57万5千円追加
- 町民プール運営費
 - 令和3年度大雪に伴う屋根の修繕費 2千300万円追加
- 令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 - 後期高齢者医療保険料
 - 広域連合医療保険料の減額 659万6千円減
- 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 - 町民プール運営費
 - 令和3年度大雪に伴う屋根の修繕費 2千300万円追加
 - 職員給与費
 - 職員の人事異動等・共済費負担金率の変更による減額 698万2千円減
 - 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 - 一般管理費
 - 職員・会計年度任用職員給与等の確定・一部共済組合加入に伴う共済費精査等による増減 29万5千円追加
- 令和4年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
 - 介護給付費準備基金積立金
 - 積立金 871万3千円追加
 - 一般会計繰出金
 - 一般会計への繰出金 284万8千円追加
- 令和4年度水道事業会計補正予算(第2号)
 - 水道事業費用
 - 職員の住居手当及び共済組合負担金等の増 11万8千円追加
- 議会運営費
 - タブレット端末2台の購入費等 24万3千円追加
- 渡島西部4町地域間幹線系統木古内松前線維持奨励金事業費
 - 感染症の影響を受けた公共交通事業者へ、渡島西部4町が一律に交付する奨励金 300万円追加
- 財政調整基金費
 - 地方財政法第7条による繰越金の積立て・基金利子の積立て 5億6千円の追加
- 生活館等管理費
 - 消火器交換・三岳2町内会館の案内看板保守委託料 18万円追加
- 温泉健康保養センター管理運営費
 - 不足が見込まれる修繕費 160万円追加
- 自然災害防止事業費
 - 8月の大雨による治山水路補修・法面維持補修等費用 210万9千円追加
- 林道施設維持管理費
 - 8月の大雨による林道補修費用 39万円追加
- 船揚場維持管理費
 - 8月の大雨による土砂及び流木流入の除去作業費 174万9千円追加
- 道路維持費
 - 道路の維持管理に必要な修繕費 140万円追加
- 河川総務費
 - 河川の維持管理に必要な修繕費 75万円追加
- 空家等対策支援事業費
 - 支援相談件数の増による除却補助金 720万円追加
- 町営住宅整備事業費
 - 町営住宅の維持管理に必要な小破修繕費 325万円追加
- 災害対策費
 - コロナ感染症による自宅療養者への緊急支援物資購入費 40万円追加



令和4年度一般会計補正
予算(第8号)

● 新型コロナウイルススワク

チン接種体制確保事業費

オミクロン株に対応した

ワクチン予防接種の人員を

体制確保・集団接種会場の

運営費 41万5千円追加

● 新型コロナウイルススワク

チン接種事業費

オミクロン株に対応した

ワクチン予防接種に係る、接

種費用及び時間外・休日接

種の加算費用

948万2千円追加

単位：千円

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計(第7号)	85,432	4,577,846
国民健康保険特別会計(第2号)	37,001	798,007
介護保険特別会計(第2号)	30,872	578,236
後期高齢者医療特別会計(第1号)	△ 6,591	74,056
国民健康保険診療所特別会計(第3号)	295	110,596
水道事業会計(第2号)	118	248,888
一般会計(第8号)	13,627	4,591,473

条例改正

地元企業雇用等促進条例の
一部改正

一部改正

新たな在留資格「特定技能」

が創設されたことに伴い、

「特定技能外国人受入助成金」

を新設する、条例の一部改正。

土地の確認ほか

新たに生じた土地の確認・
区域の変更

区域の変更

吉岡漁港機能保全工事に

よる、岸壁部分の拡幅に伴う

公有水面埋立の竣工により

新たに生じた土地を確認し、

字の区域を変更。

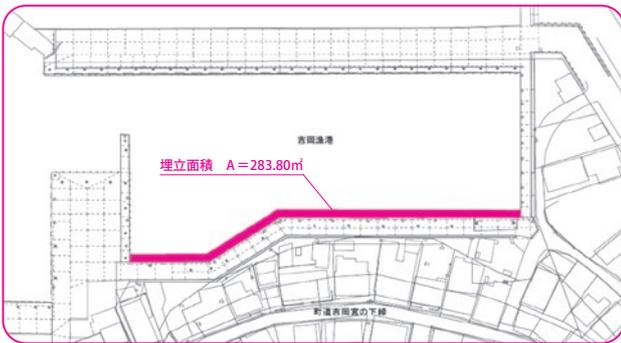
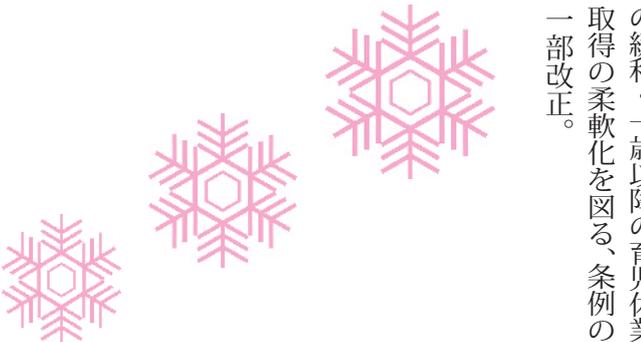
● 編入した公有水面埋立地

字館崎82番1地先の公有

水面埋立地

● 新たに生じた土地の面積

283.80㎡



同意

教育長の選任

小野寺則之氏(再)の選

任に同意。

教育委員会委員の任命

平野雄輝氏(再)の選任

に同意。

報告

令和3年度福島町財政健全
化判断比率

令和3年度決算による財政健全化判断比率の報告。

令和3年度教育委員会の
事務管理・執行状況の点検
・評価報告

教育委員会部局の令和3年度事務事業評価報告。

議会提出議案

国土強靱化に資する社会資本
整備等に関する意見書の提出

道路整備の推進や管理の充実・強化を求める意見書。

宣誓

教育長の宣誓

まちづくり基本条例第15条の規定に基づき、小野寺則之教育長が就任宣誓を行いました。



令和3年度決算審査は、定例会9月会議で平野隆雄委員長ほか7名（議長を除く）の議員により構成する「決算審査特別委員会」を設置し、9月14日の1日間、一般会計を含む7会計について審査、各事務事業に対して質疑・意見交換が行われました。

決算審査特別委員会



総務費



平野隆雄
決算審査特別委員長

問 UIJターンの新規就業支援事業は、2〜3年実績がない。実施する必要があるのか？実施するのであれば、ホームページ等で積極的にPRしては。

（小鹿昭義議員）

答 本事業は、道内市町村で参加を希望する自治体を取り組んでいるもの。現時点での当町の交付実績はないが、申請受付により移住する一つのきっかけになればと考えている。PRに関しては、道のマッチングサイトに繋がる形で掲載している。

問 光ファイバーの整備は、林野周辺も含め町内全域の住宅地で行われた認識で良いか。
住宅地から離れた個々の住民に向けての整備について町の考えを伺う。

（平沼昌平議員）

答 町内全域で整備しており、通信事業者より住宅地は全て利用可能と伺っている。
住宅地以外は、居住状況等を踏まえながら通信事業者と協議の上適宜対応したい。

問 町有施設で加入している火災保険の範囲や契約内容、保険の対象となった実績があるか伺う。

（平沼昌平議員）

答 町所有の公共施設が対象。

問 旧千軒小学校の体育館の倒壊については、倒壊後すぐに町村会へ報告し、補正予算で解体している。被害額が確定しないと最終査定に入らないので、全ての支払いが完了後、被害額の確定をもって保険金の申請となる。

問 ふるさと応援基金の寄付目標額に達しなかった要因と、物価高により返礼品の需要低下が心配される蝦夷アワビの返礼品取り扱い、どの程度か伺う。

（佐藤孝男議員）

答 人気の返礼品「すめ」が、イカの不漁に伴い、一部が欠品・取り止めとなったこと、「キタムラサキウニの塩水パック」も目標数量に対して申込数が届かなかったことが要因と考えている。返礼品取り扱いでは、「すめ」が圧倒的に多く、蝦夷アワビについては、まだまだ知名度が劣っている状況と考えている。

問 大雪時のバス待合所の除雪管理は、委託事業者の作業負担が非常に大きいので、町のホイールドアラー等を有効活用してどうか。町の除雪車両の活用状況についても伺う。

（平沼昌平議員）

答 町のホイールドアラーは、大雪時、役場駐車場のほか、三岳地区の車庫、福祉センター前、総合体育館前の除雪作業に活用している。
バス待合所の除雪作業は、町職員の手作業による場合もあるが、大雪の場合は除雪機械による作業を行うこともある。

民生費

問 今年度も原油価格が高騰しているが、町として給付金等の対応を考えているか。

（佐藤孝男議員）

答 原油価格等の高騰の影響が大きい。国の状況を見ながら、年末までには何らかの形で町民の方に付与できる対策を講じたい。

農林水産業費

問 海峡横綱ビーチ内に油や海藻が浮いている。清掃等の対応を伺う。

（藤山大議員）

答 道の施設であり、オープン前に道で整備・清掃を行っている。海藻については自然の現象である。時化になると泳ぐ場所に漂い、出ていきづらいう状況だが、遊泳期間中に全て処理するのは困難。

問

林道補修の優先順位や、基準について伺う。
(藤山大議員)

答

町内には7林道あり、道の林道は基幹林道であるため、維持補修はその都度行わなければならない。作業場所を優先し、順位をつけながら補修を行っている。8月の大雨の影響を受けた島前線については最優先と位置づけし、この度補修工事を行う。

商工費

問

青函トンネル記念館は、第2青函トンネル構想のPRに有効な唯一の道具になると思う。施設を利用し、町全体で機運を高める方向性にもっていかなければならぬと思うが、今後の対応は。
(平沼昌平議員)

答

コロナ禍で見える色々な方向性で動けるような活動も増え、第2青函トンネル構想が認知されつつあると考えている。
同記念館を上手く活用し



てPRするほか、「第2青函トンネル構想を実現する会」の予算の中で、来春までにシンポジウムの開催等、目に見える活動を行いたい。

土木費

問

今年の大雪により、高齢者の家が倒壊し、家に入れなくなった方も多くいる。そういった方の雪害状況や、高齢者の町営住宅入居状況を伺う。
(佐藤孝男議員)

答

自宅の屋根が雪の影響を受けたことにより町営住宅へ入居した高齢者が2名いる。ケースワーカーからの話も考慮し、他に手立てがないため入居することとなったもの。

国民健康保険特別会計

問

国民健康保険税の繰越額が大きすぎるのでは。道への情報収集をしながら調整を検討すべきでは。町の考えと対応を伺う。
(溝部幸基議長)

答

国保制度の広域化に伴い、想定外の部分も出てくると思われることから、令和4年度の検証を行うとともに、道から情報入手しながら無理のないよう対応したい。

令和3年度決算全7会計を認定

総額63億5,762万4千円

単位：千円

会計名		歳入	歳出	差引
令和3年度各会計決算額	一般会計	4,769,849	4,653,494	116,355
	国民健康保険特別会計	773,986	730,263	43,723
	介護保険特別会計(保険事業勘定)	552,008	521,218	30,790
	介護保険特別会計(サービス事業勘定)	1,247	1,247	0
	後期高齢者医療特別会計	73,039	73,032	7
	浄化槽整備特別会計	59,747	59,747	0
	国民健康保険診療所特別会計	107,528	92,972	14,556
水道事業会計	227,142	225,651	1,491	
計	6,564,546	6,357,624	206,922	

定例会9月会議 一般質問

4名の議員から4問の一般質問があり、町の対応や考え方をたしました。

！ 一般質問とは、議員が町長（執行機関）に対して、事務の執行状況や方針について質問したり、報告、説明を求めることを言います。



木村 隆 議員

問

新型コロナ陽性者への支援体制やオンライン授業について伺う。

答

町 長 「町単独で支援物資を届け、接種の意向調査を実施。」
教育長 「長期休業の場合は、オンライン授業を実施」
「オンライン学習の基準に一律の取り決めはない」

木村議員

新型コロナ陽性と判断された方の大半は軽症と診断され、自宅等で療養となるが、次の点について伺う。

① 感染者支援

全数把握の見直しについて、いずれ全国一律となる方針。見直しされた場合、市町村別の感染者数は分からなくなると思われる。

8月からの感染者数急増を受け、当町も支援物資の提供を開始したと伺っているが、感染者情報を町で把握できなければ、行政側からのアプローチは容易にできなくなる。どのようなフォローアップを考えているのか。

② オンライン授業

小中学生が陽性者や濃厚接触者となったり、家族に発熱者があり無理せず学校を休んだ場合、オンライン授業を受ける取り決めをどのようにしているのか。

③ 児童、生徒のワクチン接種

5歳～11歳の接種率は46%と全国より高い状況にあるが、8月から感染者が急増し、ワクチン接種を考え直す保護者もいるのではないかと。12歳～17歳の3回目接種や、5歳～11歳の1回目接種について声掛けしてはどうか。

鳴海町長

① 感染者の拡大により、7月後半から道の支援物資に遅れが生じ始めたので、町独自で感染者に確認したうえで支援物資を届けている。

国では全数把握の見直しを議論しているが、道は当面行わない旨と表明しており、状況の推移に注視し適宜対応していく。

③ 国から「オミクロン株に対応したワクチン接種体制」を確保するよう通知があった。

接種対象は、12歳以上の方で3回目、4回目が未接種の方となっており、準備が整い次第、意向調査を実施予定。

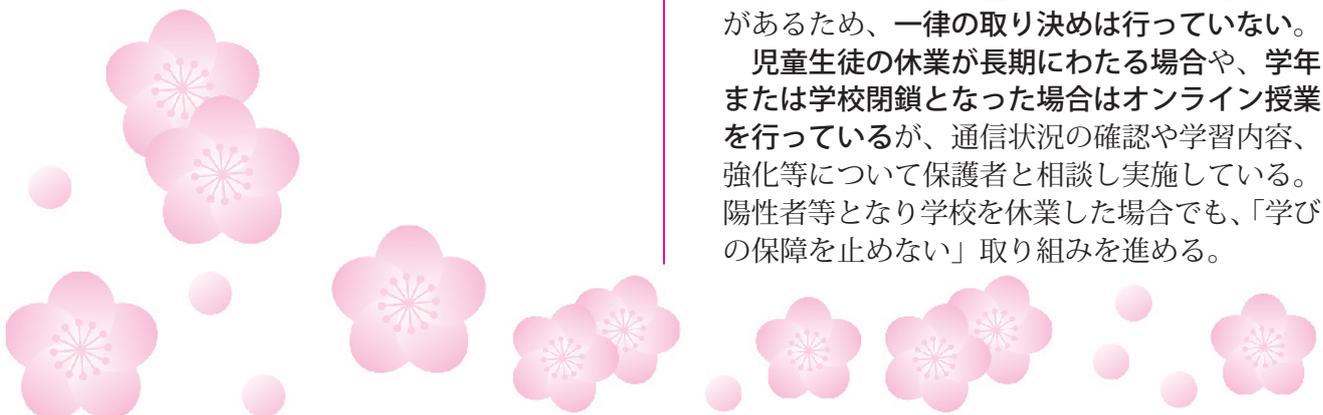
5歳～11歳の接種が、勸奨から努力義務へ変更されたので、初回が未接種の方へ再度意向調査を予定している。

小野寺教育長

② タブレット端末を一人一台貸与しており、福島中学校生徒は毎日、吉岡小学校と福島小学校児童は月1回、週末に家庭へ持ち帰っており、学習アプリ「eライブラリー」や課題プリントを活用した家庭学習に取り組んでいる。

オンライン学習の基準は、各個人の発達段階があるため、一律の取り決めは行っていない。

児童生徒の休業が長期にわたる場合や、学年または学校閉鎖となった場合はオンライン授業を行っているが、通信状況の確認や学習内容、強化等について保護者と相談し実施している。陽性者等となり学校を休業した場合でも、「学びの保障を止めない」取り組みを進める。





小鹿 昭義 議員

問

有害駆除に対する今後の町の対応は。

答

昨年の痛ましい事故を受け、対策を強化。

小鹿議員

白符地区でのヒゲマによる痛ましい事故から一年が過ぎ、また、大雪の影響により、鹿等による樹木、畑作等の被害が町内全体に拡大しています。鳥獣駆除に対する今後の対応について、次のとおり伺う。

- ① 渡島総合振興局、松前警察署、猟友会等関連機関との鳥獣駆除対策取り組みの状況
- ② 猟友会の方々に対する人的・物的支援体制
 - ・ 人的支援体制強化の具体的な内容
 - ・ 物的支援の現状は、活動費5,000円／月額のほか、駆除数による出来高支払いで、経費は自己負担と聞いている。物的支援強化を考慮すべきと思うがいかがか。
- ③ 駆除後の処理施設に対する考え

町長は西部4町で対応をお考えであったが、4町の調整には相当時間がかかることが想定される。当町独自の施設整備を早急にすべきと考えるがいかがか。

鳴海町長

昨年の痛ましい事故を受け、ヒゲマ出没場所への電気柵や箱わなの設置など、対策を強化している。

- ① 松前警察署と協議の上、パトロールやハンター要請、防災無線での注意喚起などの役割を明確にし、相互連携を図りながら対応している。渡島総合振興局及び猟友会とは、指導を仰ぐなど、日頃から連携を図っている。
- ② 人的支援としては、「狩猟免許等取得助成制度」を活用し、令和3年度にハンターが1名増員。巡視活動の回数増に繋がっている。物的支援としては、銃弾の購入費相当額として5,000円／月のほか、車両巡視の出動時間数に対し活動報奨金を支出している。
- ③ 広域での処理施設建設には相当時間を要するため、福島町単独での事業実施に了承をいただいた。処理施設の将来的な運営については、広域的管理の可能性も視野に入れ、引き続き構成4町で協議していく。



川村 明雄 議員

問

高齢者事業団の立ち上げ・高齢者による自立支援対策の構築を。

答

町内の状況を勘案し、困難性があると判断。

川村議員

現在人口減の一途を辿っているが、町に住み続けたい高齢者も多く、インフラ整備のほか、かゆいところに手の届くようなソフト面の整備も必要と思う。

高齢者事業団の人材等には幅広い会員が望まれるが、技術や経験、知恵の発揮等のためには元町職員の定年退職者も含まれると思う。令和元年以降の定年退職者は何人か、その中で他市町村に転出した方は何人か伺う。

町民の声として、住居付近の草刈り、庭の草むしり、熊対策のための住家周辺の草木の伐採、墓地の清掃等々の相談事例がある。

町の主導で高齢者事業団を立ち上げ、自立までの支援対策を構築して欲しい。町長の考え方を伺う。

鳴海町長

人口減少時代を迎え、地方において少子高齢化が進み、様々な分野で人材不足が懸念されている。人生百年時代ともいわれ、健康寿命の延伸により、地域における高齢者等の役割がより重要になると感じている。

平成元年度から令和3年度までの定年退職者は87名で、他市町村へ転出された職員の詳細は把握していない。

中途退職者も含めたこの間の全体の退職者は169名となっている。

町主導による高齢者事業団の立ち上げについては、町内の状況を総合的に勘案し、困難性があると判断している。

平成12年に民間による「高齢者事業団」が組織され、道・町の補助金を活動資金とし、団員の方が技術や経験を活かし活動した経緯があるが、平成20年、補助制度の廃止と同時に組織が解散された経緯がある。



平沼 昌平 議員

問

多様化する移住者への対応と施策は。

答

町 長「既存施策で寄り添った対応を図りたい」
教育長「全国募集で定住や交流人口の拡大を図りたい」

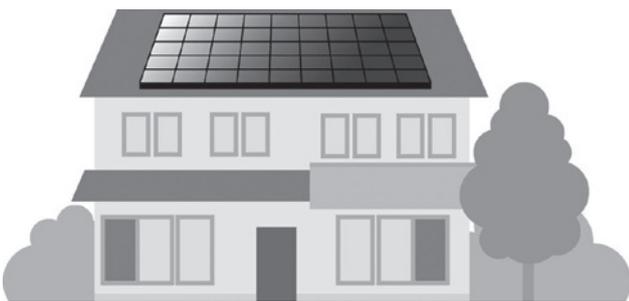
平沼議員

今年1月1日時点の当町人口減少率が4.05%と示されているがこの数値をどのように捉えているか伺う。

また、定住や移住を積極的に受け入れる体制の施策は社会情勢等を勘案して都度検討されているのか伺う。

都会から田舎への移住タイプは

- ① 定年退職後を田舎でのんびり暮らそうという比較的単純明快なタイプ
 - ② 農林業や漁業など、都市にはない田舎で生きる技に価値を見出し、生活の糧として自らの人生を大きく変えようとするタイプ
 - ③ 身に付けている技やスキルを持ち込み、田舎になかった分野の仕事で生きようとするタイプ
 - ④ 大都市などで子育て環境の不自由さを感じ、望ましい子育ての環境を求めて移住するタイプ
- 田舎の自治体は経済的数値で都市に対抗できないと感じるが、人が支え合う社会的価値を育てることで、地域の価値を高められると思うが、これらのタイプに対しどのような対応をされるのか考えを伺う。



鳴海町長

当町の人口減少率は、渡島檜山管内で2番目に高く、減少を鈍化させ一定人口規模の維持を目標に、取り組みを進めている。

人口減少対策は最も重要な課題であり、減少が続くと、社会経済活動や町の存続にもかかわる深刻な問題と捉えている。

これまで「ふるさと暮らし応援条例」、「高校生までの医療費無料化」、「国に先駆けての保育料・給食費の無料化」など、子育て世帯を中心とした定住・移住に繋がる施策を実施してきたが、田舎へ移住する方への個別の目的に全て適う対応は困難だが、既存の施策できるだけ寄り添った対応を図りたい。

小野寺教育長

当町の人口減少率が高いことを非常に憂慮している。減少率を鈍化させ、持続可能な町となるためには、子どもを産み育てる若者世代に、町へ残ってもらうことが最優先課題となる。

特に福島商業高校は、なくてはならない教育機関であり、地域を担う人材を輩出してきた。同校の魅力化を推進し、町に愛着を持ち、町を支える人材の育成に取り組んでいく。

毎年8名程度の入学生を目標に生徒を全国募集し、次代の担い手として町に定住したり、第2の故郷として将来的にも関わりを持てるような取り組みを進めていく。

「青少年交流センター」を活用し、就業・移住体験、ワーケーション等により、町外の多くの方に利用していただくことでも交流人口の拡大を図りたい。



「商工会プレミアム付商品券」を追加発行！

定例会7月第2回会議は、7月25日に開会、議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決し休会しました。

町議会定例会

7月
第2回
会議

補正予算

令和4年度一般会計補正
予算(第6号)

● 議会運営費

議場人口出退表示器の故障に伴う修繕費

20万円追加

● テレビ中継局管理費

福島テレビ中継局の電源確保・設備の復旧などの緊急対応修繕費

80万3千円追加

● 商工振興費

感染症対策による「商工会プレミアム付商品券」の追加発行に伴う増額

900万円の追加

令和4年度浄化槽整備特別会計補正予算(第1号)

● 浄化槽整備推進事業費

浄化槽設置工事費
630万円追加

財産の取得

農業用機械等の取得

● 財産の名称・数量

農業用機械等一式(PH型ハウス、そば用コンバイン、乾燥機外)

● 取得価格

3千131万4千800円

● 契約の相手方

北斗市萩野33-68
ヤンマーアグリジャパン株式会社 函館支店

支店長 田本 哲司

● 取得の方法

随意契約

単位：千円

会計名	補正額	補正後の 予算総額
一般会計(第6号)	10,643	4,492,414
浄化槽整備特別会計(第1号)	6,300	71,668



物価高騰の影響を受けた町民を支援！

定例会10月会議は、10月21日に開会、議案1件を審議し、原案のとおり可決し休会しました。
参画者は1名でした。

町議会定例会

10月
会議

令和4年度一般会計補正
予算(第9号)

● 電力・ガス・食料品等

価格高騰緊急支援事業費
電力・ガス・食料品等の価格高騰による影響が大きい低所得世帯に、緊急的に支給する給付金

5千478万円追加

● 地域経済緊急支援事業費

物価高騰の影響を受けている町民へ地域商品券を配布

3千801万5千円追加

単位：千円

会計名	補正額	補正後の 予算総額
一般会計(第9号)	92,795	4,684,268



各議案の審議結果

- ・ 賛成○、反対×、病欠△、欠席は欠と表示しています。
- ・ 溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議 案	議 員 名								審 査 結 果
			佐藤孝男	平沼昌平	木村隆	川村明雄	杉村志朗	藤山 大	小鹿昭義	平野隆雄	
7 月 第 2 回 議 会 (7月25日)	26	財産（農業用機械等）の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	27	令和4年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	28	令和4年度浄化槽整備特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
9 月 会 議 (9月13日 ? 15日)	29	地元企業雇用等促進条例の一部改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	30	職員の育児休業等条例の一部改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
	31	町の区域内に新たに生じた土地の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	
	32	町の字の区域変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	33	令和4年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	34	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	35	令和4年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	36	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	37	令和4年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	38	令和4年度水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	39	令和4年度一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定1	令和3年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	認定2	令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定3	令和3年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定4	令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定5	令和3年度浄化槽整備特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定6	令和3年度国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定7	令和3年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	同意1	教育長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
同意2	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○		
報告3	令和3年度財政健全化判断比率の報告	採決はありません								報告済み	
報告4	令和3年度教育に関する事務の管理・執行状況の点検・評価報告	採決はありません									
発委7	国土強靱化に資する社会資本整備等意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
宣誓1	教育長の宣誓	採決はありません								宣誓済み	
10月会議 (10月21日)	40	令和4年度一般会計補正予算（第9号）	欠	○	○	欠	○	○	○	○	原案可決



会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の7月末から12月までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「-」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

月 日	会 議 ・ 行 事 名	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿	平野	溝部
7月30日	第43回北海道中学校相撲大会	-	-	-	-	-	-	-	○	○
8月1日	函館市市制施行100周年記念式典	-	-	-	-	-	-	-	-	○
3日	吉岡温泉整備調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	職
	経済福祉常任委員会(地場産品)	○	○	-	-	-	○	○	○	○
9日	総務教育常任委員会報告書手交	-	-	-	○	-	-	-	○	○
10日	道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟現地研修会(松前町)	○	-	-	-	-	-	-	-	-
13日	二十歳を祝う会	-	-	-	○	○	○	-	-	○
	第34回やるべ福島イカまつり	○	-	-	○	-	-	-	○	○
17日	第2回議会基本条例諮問会議	-	○	-	-	-	◎	-	○	○
20日~21日	令和4年度全国中学校体育大会 第52回全国中学校相撲選手権大会	○	-	-	○	-	-	-	○	○
22日	吉岡温泉整備調査特別委員会報告書手交	○	-	-	-	-	-	-	○	○
	経済福祉常任委員会報告書手交	○	-	-	-	-	-	-	○	○
26日	総務教育常任委員会(高校魅力化)	-	-	○	○	○	◎	-	○	○
9月2日	渡島西部広域事務組合議会 第2回定例会	○	-	-	-	○	-	-	-	○
3日	第23回健康フェスティバル	-	-	-	-	-	-	-	-	○
5日	正副議長会議(定例会9月会議議案説明)	-	-	-	-	-	-	-	○	○
6日	一般質問通告	-	○	○	○	-	-	○	-	職
	議会運営委員会(定例会9月会議の運営)	○	○	-	○	-	-	○	職	職
	経済福祉常任委員会(定例会9月会議後の所管事務調査)	○	○	-	-	-	○	○	○	○
7日	総務教育常任委員会報告書手交	-	-	-	○	-	-	-	○	○
9日	監査委員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13日	定例会9月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15日	定例会9月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	林業活性化議員連盟総会	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	議員会総会	○	○	-	○	-	○	○	○	○
	議会運営委員会(定例会9月会議の反省)	○	○	-	○	-	-	○	職	職
17日	令和4年度敬老会	○	-	-	-	○	-	○	○	○
18日	FOOD STADIUM 2022	-	-	-	-	-	-	-	-	○
21日	令和4年度秋の交通安全運動町民大会	-	○	-	-	-	-	-	-	○
26日	第68回福島幼稚園運動会	-	-	-	-	-	-	-	-	○
28日	経済福祉常任委員会(残滓減量化施設・横綱ビーチ)	○	○	-	-	-	○	○	○	○
29日	栗山町議会視察受け入れ	-	○	-	-	-	-	-	○	○

月 日	会 議 ・ 行 事 名	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿	平野	溝部
10月1日	鈴木宗男・鈴木貴子第17回北海道セミナー（札幌市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
3日	第3回議会基本条例諮問会議	—	○	—	—	—	—	—	○	○
4日	青少年交流センター整備工事上棟式	○	—	○	○	○	○	○	○	○
6日	経済福祉・総務教育常任委員会連合審査会（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8日	第28普通科連隊創立60周年及び函館駐屯地開庁72周年記念行事（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
11日	経済福祉常任委員会報告書手交	○	—	—	—	—	—	—	○	○
	経済福祉・総務教育常任委員会連合審査会報告書手交	○	—	—	—	—	—	—	○	○
12日	北海道様似町視察受け入れ	—	—	—	—	—	—	—	—	○
14日	総務教育常任委員会（行政評価）	—	—	○	○	○	—	—	○	○
	経済福祉常任委員会（行政評価）	○	○	—	—	—	○	○	○	○
16日～17日	双葉地方広域市町村圏組合有害鳥獣処理施設視察（福島県）	○	○	—	○	—	○	○	○	○
18日	渡島・檜山管内市町議会議員研修会（北斗市）	○	×	×	○	○	○	○	○	○
20日	経済福祉常任委員会（第5次総合計画の変更）	○	○	—	—	—	○	×	○	○
21日	議会運営委員会（定例会10月会議の運営）	×	○	—	×	—	—	○	職	職
	定例会10月会議	×	○	○	×	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会（町民プール）	—	◎	○	×	○	◎	◎	○	○
	議会運営委員会（定例会10月会議の反省）	×	○	—	×	—	—	○	職	職
24日	経済福祉常任委員会（社会福祉協議会・除雪体制）	×	○	—	—	—	○	○	○	○
25日	渡島廃棄物処理広域連合議会全員協議会（北斗市）	—	○	—	—	—	—	—	○	—
	渡島廃棄物処理広域連合議会第2回定例会	—	○	—	—	—	—	—	○	—
28日	総務教育常任委員会（第5次総合計画の変更）	—	—	○	×	○	—	—	○	○
	総務教育常任委員会報告書手交	—	—	—	×	—	—	—	○	○
30日	第40回南北北海道駅伝競走大会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
31日	愛媛県愛南町議会視察受け入れ	—	○	—	—	—	—	—	○	○
11月1日	渡島西部四署合同訓練（松前町）	○	—	—	—	○	—	—	—	○
	議会基本条例諮問会議答申	—	○	—	—	—	—	—	—	○
2日	群馬県桐生市視察受け入れ	—	○	—	—	—	—	—	○	○
	総務教育常任委員会（防災マップ）	—	—	○	○	○	—	—	○	○
4日	総務教育常任委員会（町内会支援、半島道路、大学連携）	—	—	○	○	○	—	—	○	○
7日	総務教育常任委員会（現地視察・行政執行方針）	—	—	○	○	○	—	—	○	○
	町表彰式	—	—	—	○	—	○	○	○	○
8日～10日	全国議長大会（東京都）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
11日	経済福祉常任委員会（現地視察・行政執行方針）	○	×	—	—	—	○	○	○	○
	経済福祉常任委員会報告書手交	○	—	—	—	—	—	—	○	○
14日～15日	第54回全国過疎地域連盟総会（東京都）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
17日	総務教育常任委員会報告書手交	◎	—	—	○	—	—	—	○	○
	経済福祉常任委員会報告書手交	○	—	—	◎	—	—	—	○	○
18日	議会運営委員会（議会だより）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
22日	経済福祉常任委員会（国保、ごみ、種苗）	○	○	—	—	—	○	○	○	○
24日	経済福祉常任委員会（岩部クルーズ、残滓処理施設）	○	○	—	—	—	○	○	○	○
	総務教育常任委員会報告書手交	◎	—	—	○	—	—	—	○	○
	経済福祉常任委員会報告書手交	○	—	—	◎	—	—	—	○	○

町民と議員との懇談会

「町民と議員との懇談会」は、町民に対する説明責任を果たし、情報を共有するため毎年開催しております。

令和3年度の懇談会の一部を令和4年5月に延期して開催したので、その内容を報告します。

5月13日 日向1・2・3
吉田町・館古
新栄町



日向1・2・3

- **議員定数・歳費**
定数を減らす必要はないが、歳費が安すぎると感じる。
- **吉岡温泉**
町内産薬草の活用で薬湯浴槽を設けては。
- **福島商業高校**
 - ・ 生徒を呼び込むためには、福島町の特色を活かす必要があると感じる。
 - ・ 青少年交流センター整備の進捗状況は。

5月17日 月崎2
丸山
月崎1



丸山

- **観光**
 - ・ 空いている町有地を開墾し、フラワーパーク的なものを整備しては。
 - ・ 食べ物の特産品開発に力を入れては。
- **第2青函トンネル**
 - ・ 町民意識の盛り上げが大事。夢が夢でなくなるような活動を望む。
 - ・ 現トンネルの工事関係者が、老朽化を懸念している。

5月19日 緑町
塩釜



緑町

- **産業**
 - ・ 木材の地産地消を検討して欲しい。
 - ・ 国際情勢から木材も貴重な資源になるので、山林資源の活用を十分検討して欲しい。
- **水道**
 - ・ 水道料金の見直しに伴う影響はどれくらいなのか。
 - ・ 水道管の使用期限や、補修等の計画年数は。

5月20日 三岳1
三岳2
千軒



三岳2

- **福祉**
 - ・ 新型コロナワクチン接種の対応が早かった。
 - ・ 福祉施設へ外国人を雇用しては。新鮮味があり、地域にも刺激になる。
- **空き家**
 - ・ 空き家が多く劣化が進むの見えるが、個人のもので心苦しく、何も言えない。
 - ・ 町は危険空き家に対しての指導をもっと厳しくしては。

調査事件 2

学校給食の地元食材活用について

— 令和4年7月25日調査 —

！ 前回調査から1年が経過し、現状等について教育委員会から資料が示されたことから、内容を調査しました。

関係者会議を常設し、地場産品の活用推進を！

地元食材の使用量や取り組み等について把握したが、地元食材の安定供給と活用に向けて、次の事項をさらに検討されたい。

● 物価高騰への対応

令和4年度より福島商業高等学校へ給食の提供を開始したことに伴い、用意する給食数が増えているが、現在、野菜等の食材の価格高騰が続いており、関係予算の不足が危惧される。適宜補正等を行い、予算不足が生じないように努められたい。

● 関係者会議の定期的な開催

地元食材の使用拡大に向け各団体、関係者が参加する関係者会議を開催し、情報共有が図られたことは評価する。関係者会議は常設とし、毎年開催すべきと思慮する。

● 学校給食への地元食材活用による農業振興

使用食材の生産現状を的確に把握し、給食センター側と食材活用の可能性を分析検討することが重要であり、町内農業の実態に即した活用により農業振興への連動を期待する。

調査事件 1

福島商業高等学校の魅力化について

— 令和4年8月26日調査 —

！ 取り組みの現状と、青少年交流センターの管理運営体制等について教育委員会から資料が示されたことから、内容を調査しました。

魅力化を進め、より強力なPR活動の展開を！

取り組みの現状と同施設の管理運営体制等については一定の理解をしたが、次の事項についてさらに検討されたい。

● 生徒確保に向けたPR活動の推進

今後、卒業予定の町内の中学生も少なく、再編基準の10名確保はより一層困難になることから、より強力なPR活動の展開が必要と思慮する。

① オープンキャンパス等の推進強化

同校の特色を活かした取り組みを理解してもらえよう工夫や、1年で複数回開催するなど、さらに積極的な取り組みを検討されたい。

函館市内・近隣町への周知等についても積極的に働きかけをするよう検討されたい。

② 地元生徒への対応

同校の存続には地元の子どもや保護者に「入りたい、入らせたい」と思わせることが重要であり、地元の子どもたちに対してもしっかりPRしていく必要があると思慮する。

● 教育課程の魅力化

町外から応募する生徒への魅力化のためにも、教育課程の地域範囲を道南圏まで拡げるなど、生徒たちの活動範囲を広げた地域学習についても検討すべきと思慮する。

● 青少年交流センターの管理運営

関係条例等を定例会12月会議に上程することのだが、提示された条例案には文言等に修正・検討が必要な点があるので慎重に対処されたい。

❗ 本来対応すべき常任委員会の所管調査を経ることができず、この度町より工事の方向性が示されたことから、内容を調査しました。

設計業者との適切な協議、施設管理体制の見直しを！

町の検討結果については理解をしたが、提示案は定例会9月会議で審議された内容から大幅な変更となっている。冒頭でしっかり説明すべきであったと指摘するとともに、次の事項について検討されたい。

● 施設本体からの落雪への対応

採用するとしている第3案は、木造フラット工法で屋根に雪が溜まる構造となっている。本体屋根の雪庇等の状況を把握し設計業者と協議し適切に対応されたい。

● 施設の管理体制

町民プール屋根の歪みが判明したのが7月ということで、他の施設において大雪の被害が出ていたにも関わらず発見が遅れたことは、担当課の管理体制が不十分であったためであり、今回のことを反省し、今後は降雪前や大雪後など適宜点検するよう、改めて施設の管理体制を見直す必要があると思慮する。

❗ 今年度のローリング作業に伴う後期実施計画の変更内容を調査しました。

変更内容については一定の理解をしたが、事業を進めるにあたっては、次の事項について検討されたい。

● 事業費等の変更が生じた事業

① 松前木古内線バス車両更新事業

近隣四町で支援について協議をする際には、バス会社の更新計画等を確認するなど、慎重に対応されたい。

② 防災・減災対策事業

家庭の防災備品は、各自の管理・更新が基本だが、高齢者等は使用期限が過ぎた備蓄品の更新が困難な場合もあり、引き続き町で使用期限の確認等の支援を行っていく必要があると思慮する。

防災無線の戸別受信機は、常時電源を入れておくよう周知徹底を図られたい。

③ 町内会館等整備事業

海沿いの会館は津波の被害を受けることが想定されることから、後背地（高台）避難路の点検・

整備に万全を期し、今後の会館整備に当たって町内会と協議する際は、十分説明したうえで建設場所を選定すべきと思慮する。

● 新規に搭載となった事業

① 防火衣購入事業

消防機器や救急救命機器等は日進月歩、研究改良されている。備品の更新については、耐用年数にあまりこだわることなく、積極的に情報を収集し、実態に即した有効な整備に努めるべきと思慮する。



調査事件 4

地場産業開発研究事業の在り方について

— 令和4年8月3日調査 —

！ 「地場産業開発研究会」が令和4年度に解散したことに伴い、今後の地場産業開発研究事業の在り方等について町より資料が提出されたことから、内容を調査しました。

新たな特産品の開発・販売ルートの確立を！

示された地場産業開発事業のこれまでの取組みと今後の在り方等について一定の理解をしたが、次の事項について検討願いたい。

● 地場産業開発研究事業の体制の見直し

同研究会が担っていた各事業は、関係団体へ移行し継続していくとのことだが、福島商業高等学校においても特産品開発等に長期間取り組んできた実績があることから、商業高校魅力化推進事業に連動し、引き続き特産品開発の支援を検討すべきと思慮する。

● 支援に関わる人材の育成と相談窓口の設置
商品開発に取り組む新たな可能性を喚起・誘導するためにも、同研究会の代わりとなる窓口を

産業課に設置し、商工関係に特化した人材の育成、関連機関との連携・調整等、精力的に活動している事業者を支援する体制を構築されるよう検討されたい。

● 今後の地場産品開発の方向性

これまで同研究会が担っていた地場産品の支援は、主に養殖コンブやスルメ等に対して行っていたが、近年の自然環境等の変化により水揚げ・生産量の減少が続いており、それらに代わる新たな特産品の開発や販売ルートの確立を模索していく必要がある。そのためには関係団体との協議、情報共有を図る支援体制の構築が大事であり、早急に検討されたい。

調査事件 5

有害鳥獣残滓減量化施設の整備について

— 令和4年9月28日調査 —

！ 施設整備計画と広域3町との協議等について町より資料が示されたことから、内容を調査しました。

ハンターの意向を取り入れた施設建設と、人材育成の仕組み作りを！

整備に向けたスケジュール等については一定の理解をしたが、次の事項について検討願いたい。

● 有害鳥獣残滓減量化施設の整備

① 施設の運営等

処理の特殊性等を考慮すると専属の常駐職員が必要であると思慮する。

施設の受け入れ態勢についても、土日など休日の受け入れ、捕獲鳥獣の運搬まで含めた処理対応等、利用者の意向を多く取り入れた運営方法を検討されたい。

② 捕獲鳥獣の有効活用

捕獲鳥獣については、一部ペットの餌などに加工している実績があり、適切な解体処理による原料の確保が期待されていることから、残滓の減量化にもつながる有効活用について、ハンター・関係機関と協議・検討すべきと思慮する。

● 有害鳥獣駆除を担う人材の育成

広域的に統一した有害鳥獣の捕獲・処理等に関する判断基準等のルール作りを検討するとともに、将来に向けたハンター等育成の仕組み作り、広域的対応の可能性を検討する必要があると思慮する。

❗ 開設から12年が経過した同施設の管理・運営の現状について、内容を調査しました。

本格的な清掃・整備の道要請と、監視体制の徹底を！

施設の管理・運営の現状については一定の理解をしたが、次の事項について検討願いたい。

● 施設維持に関する北海道への要請

養浜の偏りや侵入海藻等の堆積腐敗に伴う水質悪化により、開設当時に比べ遊泳区域が狭まっている状況にある。実情を精査し、改めて施設を開設当時の状況に保つよう道へ強力に要請する必要があると思慮する。

● 町の施設管理運営(海水浴場)

① 監視体制の徹底

道の海水浴場管理運営指導要綱、町の漁港海岸環境施設管理業務委託実施要項に沿った監視体制となっておらず、水難事故等が発生した際に対応できないのではないかと強く懸念される。これまで事故はなかったとのことだが、監視員

としての要件の確認、業務内容の徹底、救命機材の設備等、監視体制を全般的に再点検し、対応していく必要があると思慮する。

② 清掃協力金

利用者の任意で納めていただいているが、管理運営のための貴重な財源となり得るため、他の海水浴場の状況等と比較し、協力金についてのルール作りを検討されたい。

● 管理業務マニュアルの整理

管理業務従事者は毎年変わることが想定されることから、業務を遂行する際に必要な事項をまとめた業務マニュアルを整備し、委託業者に徹底対応する必要があると思慮するので検討されたい。

❗ 今年度のローリング作業に伴う後期実施計画の変更内容を調査しました。

変更内容については一定の理解をしたが、事業を進めるにあたっては、次の事項について検討願いたい。

● 事業費等の変更が生じた事業

① 広域基幹林道島前線改良事業

国道228号線・白神松前間が通行止めの際にう回路として利用されるなど、災害時の代替道路となることから、松前町と状況等の迅速な把握・対応が可能な連絡体制の整備について協議を進め、事故や災害時の連絡が取れるような設備等の整備について道へ提案されるよう検討されたい。

② 吉岡温泉整備事業

現施設では雨漏り等が続いており、新施設の整備に伴い修繕費を抑えることは理解するが、新たな施設の完成予想図等を掲示するなど、町民・利用者に積極的にPRすることを検討されたい。

③ 新緑公園整備事業

グラウンドの水はけがよくなく、カラスによる芝被害や外野側フェンス付近の樹木食害等、課題が多く見受けられる。現状把握はされているとのことだが、利用団体や管理業者等と現地を確認し、問題解決に向け対応策を検討されたい。

④ 認定こども園福島保育所改修事業

暖房機器の改修費用が相当高額なことから、新たな機器に取り換えた場合との費用対効果の比較も必要と思慮するので検討されたい。検討に当たっては、省エネ・効率化の視点から、燃料費などのランニングコストも含めた相対的な検討をすべきと指摘する。

● 新規に搭載となった事業

① 水道経営戦略改定事業

専門的知見が必要なことから外部委託するということであるが、数値的な置き換えであれば、役場内で進めることに挑戦することを期待する。

❗ 協議会の令和3年度決算状況と自主財源確保・事業の取り組み状況、今後の町支援の考え方が示されたことから、内容を調査しました。

事業収支の明確化、支援補助・委託事業の規定の策定を！

今後の支援の考え方については一定の理解をしたが、次の事項について検討願いたい。

● 自主財源確保に向けた取り組み

賛助会員の募集を行っているが、すべての事業所を回りきれていないとの声も聞こえているため、役員も同行し、同協議会の役割、活動について1社でも多く理解してもらい、**賛助会員の加入促進に向けさらに努力すべき**と思慮する。

● 町の今後の支援の在り方

令和3年度決算について、事業毎の収支状況が明確に提示されておらず、職員の辞職による人件費の減が収支改善の最大の要因である点については、事業への影響が懸念される。

支援にあたっては、**事業毎の収支の状況等**を

しっかり分析し、協議会経営健全化の視点に沿って、しっかり検討されることを望む。**町支援補助金・委託事業等**については、協議会本来の役割、実情を分析・検討し**要綱等に規定すべき**であることを再度指摘する。

● 介護保険事業の今後の在り方

同事業は、国の制度改正や介護報酬の引き下げ、町内介護対象者の減少等により事業の維持が非常に厳しい状況が続いている。

今後の事業継続には、協議会が提供しているサービスで、他の介護事業所と重複している事業について、町が調整役として事業提案するなど、**3事業者と協議の場を持ち、事業の効率化・協働化を検討する必要がある**と思慮する。

❗ 除雪体制の現状と今後の支援体制について、内容を調査しました。

各種支援制度等の周知と、町内会への除雪機整備を！

除雪体制の現状と今後の支援体制整備に向けた対応については一定の理解をしたが、次の事項について検討願いたい。

● 支援制度、利用方法の周知

実際に支援を必要とする高齢者等は、支援を申し込むための窓口や手続きの方法等が分からない方が多い現状にあることから、各種制度等の周知をさらに強化されるよう検討されたい。

社会福祉協議会の除雪ボランティアは利用実績が極端に少ないことから、町としても検証し、ボランティアが活動しやすいルール作り等の手助けが必要であると思慮する。

ボランティア活動に対しては一人1回500円程度の支援金が社会福祉協議会より支給されているが、活動内容に比べて低額であり、町が金額を上乗せする等の方策も検討する必要があると思慮する。

● 今後の支援体制整備

町では今後の支援体制整備として、町内会管理のもと、除雪機等を整備する際の費用助成を検討するとしている。除雪ボランティアの高齢化もあり相当な労力が必要となり苦勞している。除雪機があれば大変助かるが、町内会はどこも財政難であり、単独での整備は難しく、**町が整備し町内会に貸与する方法が良い**と思慮する。

まずはモデルケースとしてボランティア等の多い町内会へ除雪機を貸与し、冬期間の管理・運用方法等について検証してみることを提案するので検討されたい。



調査事件17

新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金 「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」 対象事業について — 令和4年10月6日調査 —

❗ 国より提示された支援交付金限度額に基づき町より具体的な支援策が示されたことから、内容を調査しました。

メール詐欺の注意喚起、自動手洗い器の設置を！

支援策等については理解をしたが、次の点について検討されたい。

● 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金
申請は、対象世帯へ確認書を郵送する「プッシュ型」方式で実施されるが、全国的にメール等による詐欺などの多発が問題視されていることから、**注意喚起の周知**を徹底されたい。

● ウィズコロナ対策(公共衛生設備等の整備)

① 公共施設等への整備

公共衛生設備の基本的な感染予防対策として、**手洗いを行う蛇口の非接触化を推進すべき**と思慮する。不特定多数が利用する学校・保育所・体育館等の公共施設については、自動手洗い器の設置を急ぐべきと思慮するので検討されたい。

特に、今後、建設を予定している公共施設については自動水栓手洗い器の対応を早急に検討されたい。

② 一般家庭への整備

感染症等の家庭内感染の要因の一つとして、トイレでの排泄物からの飛沫等が挙げられている。家庭での衛生環境を整えるためにも、**一般家庭の浄化槽整備**を、より一層普及促進されるよう検討されたい。



会議配信や過去の会議資料をご覧いただけます

町議会ホームページにおいて、各会議の生配信や、過去の会議資料・映像をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

なお、ご意見やご感想もお待ちしております。議会事務局議事係までお気軽にご連絡ください。

<https://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

✉ gikai@town.fukushima.hokkaido.jp

☎ 0139-47-2215



吉岡温泉整備事業に関する 調査特別委員会レポート (中間報告)

委員長 佐藤 孝男
副委員長 平野 隆雄
委員 平沼 昌平 木村 隆
川村 明雄 杉村 志朗
藤山 大 小鹿 昭義

調査事件

吉岡温泉整備事業に関する調査

— 令和4年8月3日調査 —

！ 新たな施設の在り方について集中的に調査・審議するため、特別委員会を設置しています。実施設計の進捗状況等の内容を調査したので、前回調査後の経過を中間報告します。

災害時の対応も視野に入れた設計と“見える形”の地元木材活用の検討を！

● 新たな吉岡温泉整備事業

示された内容については一定の理解をするが、懸念される点も多く、実施設計を進めるにあたっては次の点について留意・検討されたい。

① 実施設計

設計業者に現施設の現状を確認してもらうとともに、問題点や反省点などを伝え、**当町の気候や風土に対応した施設となるよう**検討されたい。

原因の特定が困難な雨漏りや設備の不具合は、経年によるもののほか、当時の設計・施工に何らかの瑕疵があったのではないかと考えられることから、**実施設計、施工と進めていく上で、責任の所在を明確にしておくべき**と考えるので留意されたい。

吉岡温泉は同地区の避難所の一つでもあることから、**災害時の避難等への対応も視野に入れた設計**となるよう検討されたい。



② 木材チップの供給体制

燃料となる木質チップについては、**製造に必要な木材の安定的な確保**、町内業者に町有林材を無償で提供するとしている**町有林材(林地残材・間伐材等の未利用材)**の取り扱い、切削チップー機の導入が国・道の補助金の関係上、令和6年度のオープンに間に合わないとしている等、懸念される点が多い。全国的に木材価格が高騰する中で、木質チップが安定的に適正な価格で供給されるのか等、**実施設計完了までに積算調整**されるよう望む。

③ 地元木材の活用

地元スギ材を活用しているが、これまで町内公共施設を整備する際に活用された地元材はあまり見える形になっていないと感じるので、**今回は施設利用者からより見える形で活用方法を検討**されたい。

● 総括

新たな整備に当たっては、指摘課題等を解決しながら進める必要があるが、現施設の状況は設備等の不具合や、頻繁に続く雨漏り等による臨時休館も多く、従業員の修理等の対応も厳しく、長く利用者に不便を強いることとなっている。財政等の調整が難しいことは理解するが、**早期の供用開始に向けスケジュールの見直しも必要**と思慮する。

議会諮問会議より答申

議会基本条例諮問会議は、調査審議2項目、確認事項2項目の諮問を受け、年度内3回（5月26日、8月17日、10月3日）の会議を経て、11月1日に極壇会長が溝部議長へ答申書を手交しました。

議員定数は現行（10人）、議員歳費は増額検討を！

- 議会評価（令和3年度分）の検討

数年にわたって水準に達していない評価が見受けられるので、一定の水準を継続していくための改善方策等を検討し、議会だより等を通じ町民へ伝えるよう望みます。

- 適正な議員定数（現行10人）と議員歳費の検討

- 議員定数

適正な議員定数については、諮問のとおり10人（現状維持）で良いと判断いたします。

- 議員歳費

現状の算定方式を基本に、なり手（若者、女性）不足対策として次期改選期（令和5年9月）に向けて増額を検討すべきと考えます。

- 議会基本条例見直しに伴う行動計画進行管理（令和3年度）

適正に行われていると認めます。

- 常任委員会所管事務調査の内容確認

- 福島町社会福祉協議会の財政健全化計画

常任委員会所管事務の進め方を確認しました。



極壇会長から溝部議長へ答申書手交（11月1日）

令和3年度議会費の使われ方

ペーパーレス化に向けてタブレットを導入！

単位：千円

区分	令和2年度	令和3年度	令和3年度の支出概要
報酬	24,496	24,137	歳費24,082・諮問会議委員報酬55
給料	10,755	12,205	事務局職員3名・会計年度任用職員1名
手当等	14,663	16,225	議員期末手当10,429・職員期末手当等5,796
共済費	12,162	13,325	議員共済等負担金7,811・職員共済費5,514
報償費	0	0	専門的審査・調査謝金
旅費	117	488	委員費用弁償11・普通旅費196・視察研修旅費209・職員旅費4・同行旅費67
交際費	62	76	祝儀20・接待26・土産8・後援5・協賛金3・会費13
需用費	793	778	消耗品費106・追録代10・購読料29・議会だより印刷製本費633
使用料・賃借料	165	325	インターネットサーバスペース使用料40・議会インターネット中継回線利用料124・タブレット管理サービス使用料160
備品購入費	14	4,069	管理用備品（タブレット）購入費4,069
負担金・交付金	1,006	1,053	管内議長会等363・四町議員協議会109・議員公務災害補償組合負担金等69・政務活動費512
償還金・利子	4,324	1,083	議会中継システム譲受代金年賦金1,083
合計	68,493	73,764	※ 事務局職員・会計年度任用職員の給料等は「職員給与費」に計上されているため、議会費の決算額とは一致しません。

議会による行政評価

町では、「まちづくり基本条例」に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、令和3年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、「議会基本条例」に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「議会行政事務事業評価要綱」を定め、それぞれの事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化するとともに、併せて翌年度予算へ反映させることとしています。



議会の行政評価結果の概要

10月14日、各常任委員会で議員提出の全67事務事業評価を調整し議会評価を決定、町へ手交しました。

◎→十分評価できる ○→概ね評価できる
△→やや不足している ▲→不足している

	◎	○	△	▲	計
総務教育	1	38	0	0	39
経済福祉	1	25	2	0	28
計	2	63	2	0	67

来年度の評価に向けて（両委員会共通）

現在の予算重視の評価方法では、適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした事業重視の評価方法に変更する等、評価方法全般の改善を検討されたい。

横綱ビーチ、陸上養殖アワビ施設、製氷貯水施設、吉岡温泉、岩部クルーズ、新緑公園などの指定管理施設等関連事業については、管理運営費のみであっても行政評価の対象とすべきであると思慮されるので、評価項目全体の見直しを検討されたい。

番号	事務事業	内 容	町評価	議 会 評 価	
				評価	説 明
1	情報公開	議会だより発行ほか	A	◎	引き続き更なる工夫を期待する。
2	職員研修	研修計画に基づく職員研修の実施	A	○	研修の質的向上と関係機関への研修参加を検討願いたい。
3	車輛管理	公用車の適正管理	A	○	引き続き適切な管理と事故防止の徹底に努められたい。
4	交通安全対策	町民への交通安全啓発	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと効果的啓発の工夫を図られたい。
5	町民運動対策（青少年外）	青少年問題協議会の開催ほか	A	○	犯罪・非行防止のための情報発信に努められたい。
6	インターネット事業	役場庁舎内外のインターネット環境の維持保全	A	○	引き続きインターネット利用拡大の取り組みを期待する。
7	ホームページ管理	ホームページを運用し、行政情報を発信	A	○	基本的な行政情報を日々発信する等、抜本的な対策を図られたい。

番号	事務事業	内 容	町評価	議 会 評 価	
				評価	説 明
8	生活館等管理	町内会館の適正な維持管理	A	○	公共施設維持保全計画に基づき、適切な管理運営を期待する。
9	災害対策	安全な生活環境を守るための防災資材確保ほか	A	○	戸別受信機の継続的なメンテナンスが必要。
10	町内会連合会助成	同連合会の活動支援	A	○	住民活動の統一的な組織展開を検討されたい。
11	文書広報	町広報誌の発行	A	○	今後も分かりやすい広報誌発行に努め、ちらしの集約化等を検討されたい。
12	ふるさと応援基金運営	ふるさと納税の募集及び寄付者への返礼品贈呈	A	○	寄付者の取り込みを更に進められたい。
13	産業活性化サポート事業	地場産品を活用した商品開発等への助成	A	○	商品開発に向けた関係機関等の活用にも支援されたい。
14	町民運動対策（コミュニティ）	町内会連合会（コミュニティ運動事業）への支援	A	○	全町的な運動展開の活動を期待する。
15	バス待合所管理	バス待合所の維持管理	A	○	今後も快適な施設の維持管理を期待する。
16	戦没者追悼式事業	同式典の実施	A	○	全町民を参加対象とした新たな展開を期待する。
17	社会福祉	社会福祉団体への支援	A	○	社協の財政健全化に向けた自助努力を進め、業務全般を適切に執行願いたい。
18	高齢者行事	敬老会の開催	A	○	参加者減の要因を分析し、行事内容や参加方法を検討されたい。
19	在宅福祉事業	老人クラブ連合会への支援	A	○	クラブの活発な活動を期待する。
20	吉岡総合センター管理運営	同センターの維持管理	A	○	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
21	学童保育	授業終了後の保育にかける学童の保育	A	○	保育体制を確保の上、教育委員会と連携し、特色を持った運営を期待する。
22	ごみ減量化対策	生ごみの自家処理機購入に対する助成	B	△	排出量が減少しておらず、水切り徹底等の改善を指導されるよう検討されたい。
23	保育所	認定こども園福島保育所の運営	A	○	教育委員会と連携した特色ある運営を期待する。
24	社会福祉総務	寝たきり老人等在宅介護手当の支給ほか	A	○	手当の増額を検討願いたい。
25	重度心身障がい者等タクシー料金助成事業	通院するためのタクシー料金の一部を助成	A	○	利用率低迷の要因を分析し、適切に執行願いたい。
26	老人福祉	希望者へ緊急通報システム機器を設置	A	○	検証し、高齢者に利便性のある事業として一本化することも必要では。
27	健康づくり推進	健康フェスティバルの開催等による町民の健康増進	A	○	健康意識の醸成を促す活動にさらに力点を置かれたい。

23 福島町議会だより

番号	事務事業	内 容	町評価	議 会 評 価	
				評価	説 明
28	医療対策(保健衛生総務)	保健師等に対する修学資金貸付ほか	A	○	毎年度貸付実績がないため、要因分析と共に今後の対応を検討すべき。
29	医療対策(医療対策)	日曜当番医制による町民健康保持ほか	A	○	広域的な取り組みを進められたい。
30	老人保健	リハビリ教室等の実施	A	○	町立診療所と連携した在宅リハビリを充実させなければならない。
31	多面的機能支払交付金事業	地域活動組織(農業者による任意団体)への活動経費交付	A	○	同組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
32	千軒活性化センター管理運営	同施設の維持管理	A	○	地域文化の活動拠点としての有効活用と、町内外への情報発信を期待する。
33	熊等による被害対策	有害鳥獣の被害防止とハンターによる危険個所の巡回	A	○	後継者の確保に努力するとともに、協力体制の構築と助成金の増額を検討すべき。
34	利子補給事業	漁業者への貸付に対する融資機関への利子補給	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進められたい。
35	水産加工振興協議会補助	同協議会の運営補助	A	○	原料不足と価格高騰のため、検証しながら強力な振興策を検討願いたい。
36	水産多面的機能発揮対策事業	水産業の多面的機能を発揮させるための活動組織を支援	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
37	漁村環境改善総合センター運営	福島・吉岡にある同施設の管理運営	C	△	福島施設は現状維持に努め、吉岡施設は使用休止に伴い評価対象から除外すべき。
38	労働者支援	職業紹介等の労働支援	A	○	効果的な事業の改善、新規事業の工夫を期待する。
39	観光振興	プロモーションや物販イベント等でのPR事業ほか	A	○	単独団体での体制確保は困難であり、体制充実を図るよう指導・助言されたい。
40	横綱記念館管理運営	同施設の管理運営	A	○	貴重な資料を無駄にすることなく、両横綱の偉業を顕彰していただきたい。
41	特産品センター管理	道の駅内にある同センターの管理運営	B	○	道の駅としての評価が低い現状を踏まえ、内容充実を図るための再検討が必要。
42	青函トンネル記念館管理運営	同施設の管理運営	A	○	積極的な施設の利活用や、第2青函トンネル構想の企画展示に取り組みられたい。
43	街灯料助成事業	街灯路の設置及び街灯料の助成	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。
44	教育関係団体・大会参加助成	同団体や児童生徒の大会参加費用の助成	A	○	各団体等の活動状況等を十分把握し、助成活動を執行されたい。
45	福島商業高等学校存続事業	入学奨励金や検定受験費等の助成	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
46	高校魅力化推進事業	青少年交流センターの整備	A	○	当初計画段階での議会審議が不十分であり、特に積雪対策に不安が残る。
47	友好市町交流事業	長野県木曾町、長崎県松浦市、東京都墨田区との学生交流	A	○	三市町交流事業を推進するとともに、新たな地域との交流展開を期待する。

番号	事務事業	内 容	町評価	議 会 評 価	
				評価	説 明
48	A L T 招致	英語指導助手 2 名の招致	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
49	児童生徒輸送	児童生徒の通学・学校行事・大会参加等の輸送	A	○	現状の送迎等を維持されたい。
50	奨学資金貸付	経済的理由により就学困難な学生への奨学資金貸付	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
51	教育用コンピュータ等整備事業	校務用パソコンや児童生徒へのタブレット整備ほか	A	○	タブレット等の更なる有効活用を図ること。
52	教員住宅管理	教員の生活拠点となる住環境の整備及び管理	A	○	引き続き計画的な整備を進められたい。
53	小学校管理	小学校の適正な管理運営ほか	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
54	中学校管理	中学校の適正な管理運営ほか	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
55	学校給食センター	児童や生徒へ提供する学校給食の充実	A	○	地域食材の利用を高め、献立を工夫し、残さず食べられる給食の提供に努められたい。
56	社会教育総務	社会教育委員会議等の活動運営ほか	A	○	社会教育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
57	読書活動	福祉センター内図書室の運営	A	○	今後も図書管理システムの有効活用と図書司書の配置を期待する。
58	成人教育	各種講座等の開催ほか	A	○	今後も住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
59	青年教育	成人式の開催ほか	A	○	式典の在り方の検討を進めるとともに、青年教育の新たな展開を期待する。
60	少年教育	小中高生と対象とした講座等の開催	A	○	新しい事業も取り入れているが、更に積極的な展開を期待する。
61	芸術・文化	芸術鑑賞事業ほか	A	○	新たな展開も期待する。
62	文化財保護	歴史講座の開催ほか	A	○	学芸員を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
63	保健体育総務	各種社会体育事業の開催ほか	A	○	指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
64	総合体育館運営	同施設の維持管理	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
65	町民プール運営	同施設の維持管理	A	○	適切な管理、有効活用を進められたい。
66	ファミリースポーツ公園管理	同施設の維持管理	A	○	児童生徒等の利用促進事業、利用拡大の検討をされたい。
67	福祉センター運営	同施設の維持管理運営	A	○	設備の点検整備等、施設の適切な維持管理に努められたい。

町民の声

人生50年を振り返り独り言



極檀 忠男

20歳の時に町広報の「青年の声」の欄に寄稿してから あっという間の52年が過ぎ、この度は老年の声として寄稿することになりました。20歳頃の青年サークルでの研修で講師先生から言われたことは、この先10年間を振り返った時に何を志で生きてきたか、何もしなければこの先10年間も同様だと。今日から今から、人のために自分のためにどう過すかです。チコちゃん『ポーッと生きてんじゃねーよ!』との言葉が身に沁みます。これからも、69歳まで出来た50年間の献血166回と、69歳まで出場し続けた南北駅伝はもう無理なので、今は健康づくりのウォーキングと趣味の家庭菜園を主にして、各分野で体力気力の続く限り、歳相応の活動をしていきたいと思っています。最後に一言、現職時代では知りえなかった議員の議会活動の内容が全てではなく、議員のなり手が居ない事情等が議会諮問会議委員になって初めて分かり、その気苦労が理解できました。自分の仕事に従事しながら、腰掛けで出来るものではないですね。全ての町民の代表として行政の舵取りを担うのが、町議会議員の役目ですからね。

議員の雑感

Jアラートに思う



総務教育常任委員長 川村 明雄

10月4日早朝けたたましくJアラートが鳴った。北朝鮮からのミサイルが発射された。6千500kmを飛び太平洋上に着弾。脅威を感じたのは青森県、津軽海峡の上空を飛来した事だ。

ロシアのウクライナ侵攻後、世界は大きく変化しつつある。「我が国は関係ない」は全くの誤解で、米軍基地のある日本は大きな影響を受ける恐れもある。

津軽海峡は公海。ロシアや中国の艦艇が行き来している。北方領土周辺は勿論のこと、宗谷海峡も中国の侵攻を抱かざるを得ない状況に迫っている。

道内でも米軍のロケット砲システム射撃訓練が行われた。米軍基地は全国130箇所にあふ。米軍有事の際は否が応でも追従を見る危険がある。

国は各自治体住民の命第一の方策を練らせるべきである。

主な会議・行事予定

12月

- 一般質問通告
- 1日(木) 午前10時～午後2時 議会運営委員会
- (12月会議の運営)
- 1日(木) 午後3時～委員会室
- 渡島西部広域事務組合議会 第3回定例会
- 2日(金) 午後2時～ 福島町議会議場
- 議員勉強会
- 5日(月) 午後1時30分～ 議員控室
- 定例会12月会議
- 8日(木)～12日(月) 議場
- 1月
- 議会運営委員会(議会だより)
- 20日(金) 午後3時～ 議員控室
- 渡島西部四町議員連絡協議会理事会
- 27日(金) 木古内町

編集後記

早いもので、本年も残すところわずかとなりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。年末年始は忘新年会や帰省など、人の動きが大きくなる時期ですが、ここ数年は感染症の影響により、自粛されていた方も多いと思います。世界的に「ウイズコロナ」の考えが広がりを見せています。国内においても、屋外でのマスク着用や、感染拡大防止のための外出自粛を必要とするなど、感染症と共生しようとする動きが段階的に進んでいます。ウイルスは今後とも変異を繰り返す、収束までにはさらに大規模な感染拡大が生ずることも懸念されます。手洗い・うがいなどに引き続き可能な範囲の感染予防に努めていきましょう。一気に冷え込む時期となりますが、体の冷えにも十分注意し、暖かくしてお過ごしください。

2月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会12月会議を中心に紹介する予定です。



北方領土返還要求運動シンボル「千島桜」